

＝ 私たちの活動が信濃毎日新聞の特集に ＝

令和4年3月19日付

この特集で取り上げられた弥生ヶ丘高校の生徒さんたちの作成したビデオをご覧ください。

【ネパールと日本の友好物語】

- Produced by  
弥生ヶ丘高校国際グループ -

[https://youtu.be/5IvrUDsL\\_2k](https://youtu.be/5IvrUDsL_2k)



～手作り出産祝いにつながるオンライン交流会～

令和4年3月24日、手作り出産祝い作りに取り組んでくださっているグループや個人の皆さんがZoomを使って交流をしました。

前半は、グループ紹介をし情報を交換し合い、ご近所のような雰囲気の中、交流を深めました。後半は、ネパールのコマガネホスピタルとつながって、動画を見たり現地の様子を見たり、直接質問をして、ネパールを身近に感じることが出来ました。

＜辰野町＞・ボランティアセンターのスタッフの皆さん

＜伊那市＞・まちの縁側とうふやさんの皆さん

とうふやさん会場へ；クローバーの会の皆さん

最近この活動を知り仲間に加わってくださった；守谷さん

＜駒ヶ根市＞中沢；亀群の皆さん

＜駒ヶ根市役所＞ 市民の会スタッフ

・つるし飾り隊の皆さん

・マヤの会の皆さん

初めて皆さんとおいき会える；なないろの会の皆さん

個人；代田さん；協力隊の派遣前の隊員さん

＜ご自宅から＞

・ゆうゆうサロン 榎本さん

・会 長 小松原さん

・幹事長 小松さん ・ 通訳 米山さん

・弥生ヶ丘高校の生徒さん

約40名の皆さんが交流会に参加していただきました。



初めて、Zoomというシステムに参加された方もいらっしゃいました。

「便利だなあ」と感じられたことと思います。

昨年の交流会は、駒ヶ根アルパをメイン会場にし、森庵さんとネパールを結び形でした。その時、とうふやさんとマヤの会の川端さんとお知り合いになりました。今回は、久しぶりに画面越しに話が出来てとても楽しそうな様子でした。

一緒に取り組んでくださっている皆さんと画面を通じてですが、交流出来ました。



＝とうふやさん会場＝  
城崎さんと唐沢さん

「浴衣がたくさん集まっています。ほどいてT字帯を作っていただけませんか？」というマヤの会の川端さんからの問いかけに、

さっそくとうふやさん会場の皆さんがお答えくださり、

「今度教えに行きましょう！」と話がまとまっておりました。

ネパールの風 第5号

2022年4月 発行責任者 小松原繁樹

『海を越えたご近所づきあい』を目指して



コロナのため、それぞれのグループの集まりも制限され、活動もお休み中の皆さんですが、それぞれの場所でいろいろな形でネパールへマヤ(愛)を送り続けてくださっていることを強く感じました。

弥生ヶ丘高校の生徒さんたちが作成したビデオ「ネパールと日本の友好物語」と母子保健プロジェクトが作成した「小さな命の宿るところに」のビデオを見ていただきました。

※QRコードを載せましたので、ゆっくりご覧ください。

ポカラの病院の皆さんから；「友好のしるしの帽子や手づくりの祝い品をいただけることは大変ありがたい」と院長先生。「今日のような交流の機会を大切にしていきたい」とスタッフからお話がありました。

\*\*\*\*\*

「好まれる色は、どんな色ですか？」と辰野のボラセンさんから質問があり、～ピンクや黄色が好き！～との返事がありました。

単色の毛糸が多くても、差し色をしたり、編み方を工夫して、世界に二つとない帽子が作れたらいいですね。糸の種類もありますが、暖かいものが喜ばれるそうです。

「量が多くなって大丈夫ですか？」とクローバーの会の木嶋さんからの質問。「いつまで編んでいいのかねえ？」そんな声も聞かれます。～駒ヶ根ホスピタルだけじゃなく、他の病院の赤ちゃんにも…、と考えている～とのことで、大丈夫です。

ただ、コロナで行き来が出来なくてたくさんお預かりしております。令和3年度も5箱国際宅配便で送りましたが、まだまだたくさんあります。

早く、自分たちで運んで行きたいものです。

【海を越えたご近所づきあい】

<https://youtu.be/vnXBPxrlz18>

「毛糸の帽子以外に、何か欲しい手作りの品はありますか」

ゆうゆうサロン榎本さんからの問いかけに

～赤ちゃんの手袋とくつ下がほしい～との返事でした。

そういえば、ネパールの一般の家庭や病院には暖房がありません。冬場の看護師さんたちは、白衣の上にえり巻をして、ダウンやコートなど防寒着を着込んで、医療に従事しております。駒ヶ根よりは暖かいポカラ市ですが、寒さ対策が必要なのですね。

さて、産まれたばかりの赤ちゃんの手袋とくつ下…、と交流会終了後話していると、「見本を作ってみるね」とつるし飾り隊の田村さんが申し出てくれました。

後日、こんなかわいい手袋と編み図をお届け下さいました。挑戦してみましょう！



日本からの帽子、カード等の贈り物に、心から喜んでくれているお母さんたちの笑顔、赤ちゃんが毎日たくさん生まれているということを知り、元気をもらえました。日本から母子保健支援をしているが、日本より笑顔が多いように感じました。

ネパールの人々の暮らしぶりを見て、何が幸せなんだろうと、あらためて考えさせられました。

ネパールより物質的には豊かで便利な日本では、出生率も低く、自殺者も多く、様々な課題が山積していることを思いました。

今回の交流を通して、元気をもらい、また、学ばさせていただきました。

次回は、作品作りをしていただいている利用者のおばあ様方も、是非参加できるようにしたいです。

とても喜ばれると思います。

ありがとうございました。【亀群の古谷さんより】



大勢の皆さんのご参加、ありがとうございました。都合で参加できなかった方にもお伝えできればと思い、「ネパールの風第5号」をお届けします。

今後もZoomを利用して、交流会を重ねて行けるといいですね。

早く、ティア（ネパールの甘いミルクティ）を飲みながら、皆さんとゆっくりおしゃべりができるようになりますように！



「ネパールからのお礼のカード

赤ちゃんのお父さんお母さんからのメッセージがネパール語と日本語で書かれています。お楽しみに♡

【小さな命の宿るところに

～ネパール交流市民の会～】

<https://www.youtube.com/watch?v=zXbKoyhfBjc&t=3>

